

代表質問・一般質問の要旨

第1回定例会では、市長の施政方針に対して、会派ごとに質問をする「代表質問」と無所属議員による「一般質問」が4日間にわたり行われました。

2面～6面では、市長の施政方針及び代表質問・一般質問の主な内容についてお知らせします。◇質問の詳細は会議録に掲載します。「会議録の公開予定」は10面をご覧ください。本会議の様子は議会インターネット中継から視聴することができます。QRコードからアクセスしてください。



議会インターネット中継

市長の施政方針の概要

2月24日の本会議において、市長が施政方針を表明しました。詳細は市報3月15日号、市ホームページでご覧いただけます。



池澤 隆史市長

恒久平和への願いについて

西東京市から恒久平和への強い想いを発信する。新たに(仮称)子ども・若者平和ワークショップを開催する。また、平和のシンボルである田無駅北口の平和のリング等を復活させる。

次世代につなげる環境施策について

環境に配慮した製品に対する助成制度の導入やカー

ボンオフセット事業の検討を進めるとともに、幼少期からの環境学習にも力を入れていく。また、公共施設のLED照明への改修を進める。

利便性の向上に向けた「DX(デジタルトランスフォーメーション)」について

来庁者が申請書に氏名等を記入することなく手続が可能な「書かない窓口」を開設するとともに、オンライン手続を拡充する。また、東京都の官民共創デジタルプラットフォームを活用し、地域課題等に対応したデジタル実装に向けて検討する。

令和5年度の主要な取組

子どもにやさしいまち 新たに子どもLINE相談を開始し、子どもたちが相談しやすい環境の充実を図る。 保育園における1歳児の

受入枠の拡大や0歳児の一時保育事業の拡充を図る。また、幼稚園や保育園が行う安全対策に係る経費の一部補助制度の構築及び保育中の室内活動を見守るためのカメラの導入を行う。

市立保育園の施設整備として、1園の空調設備取り換え工事及び4園のトイレの洋式化を行う。

柳沢小学校の敷地内に学童クラブを整備し、令和7年度からの定員拡充を図る。 授業の質の向上等を図るため、「学年教育アシスタント」を学級数の多い小学校8校に配置する。また、学校司書の配置を3校に2人に増員する。

学校施設の整備では、小中学校の体育館トイレの洋式化などの改修を実施する。 健康で元気なまち 母子保健の分野では、家庭の状況を踏まえた伴走型の相談支援を充実させ、妊娠からの切れ目のない支援を行う。また、多胎妊娠の方の健康診査費用の自己負担分の一部助成及び健診費用の償還払いを実施する。

高齡福祉分野では、フレイル予防につなげるため、「eスポーツ」の実施環境の充実を図る。また、地域包括支援センターに配置している認知症地域支援推進員の体制強化を図るなど、認知症の方への支援体制の拡充を図る。

障害福祉分野では、SOMPOグループとの包括連携協定に基づき、多様な障害がある方々への就労支援の取組を推進する。

市民まつりは、感染対策を実施した上で再開する。 保谷こもれびホールについて、メインホールの環境改善やトイレの洋式化工事等を行う。また、ネーミングライツを導入する。

スポーツ施設の指定管理者によるインクルーシブスポーツの体験会など、パラスポーツの普及を通じたレガシーの醸成を進める。また、スポーツ施設のLED照明への改修及び総合体育館の防水改修工事を実施する。

中央図書館の開館時間を午前10時から午前9時に変更する。 下野谷遺跡について、復元した竪穴式住居などを活用し、縄文の森の秋まつりなどによる普及啓発を行う。

安心・安全で快適なまち 田無駅北口及び保谷駅南口のペDESTリアンデッキの環境整備に努める。 予防保全の考えに基づいた公園施設の長寿命化を目的とした計画を策定する。

雨水溢水対策として、芝久保町四丁目地内や向台町四丁目地内などの対策工事及び北原町一丁目地内や新町五丁目地内における設計等を行う。

倒壊等の危険性がある特定空き家等の除却費用の一部を助成するなど、快適な住環境の確保に努める。

防災分野では、「首都直下型地震等による東京の被害想定」を踏まえ、地域防災計画の修正に取り組む。

市民とともに発展するまち 全小中学校において、「西東京ふるさと探究学習」を実施するなど、地域で子どもたちの学びや成長を支え、ともに、学校を核とした地域づくりを目指す。

行政情報の発信力の強化に向けて、専門的な視点からアドバイスを行う任期付職員を配置し、より分かり

やすい広報活動に努める。 物価高騰対策として、商店街活性化推進事業補助金の補助率の拡充を継続するとともに、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施する。

行財政基盤の強化を絶えず目指すまち 総合計画をはじめとした各種計画の策定に併せて、第5次行財政改革大綱を策定し、行政の効率化を図る。 行政サービスにおけるエリア(圏域)の検討については、第3次総合計画に位置づける中で、地域の課題を地域で解決する体制づくりを進めていく。

公共施設の量と質の最適化を図るため、公共施設等総合管理計画を改定する。 庁舎の耐力度調査の結果や設備更新にかかる費用等の調査結果を踏まえ、庁舎統合方針の見直しを図る。また、田無庁舎等における非常用自家発電設備の整備に向けた調査を行い、庁舎機能の維持体制の確保に努める。

保谷庁舎敷地について、一時的に開放するための環境を整備する。

要があることから庁内の検討組織にて策定状況を共有するとともに、個別課題を分野横断的に検討するための総合計画内プロジェクトチームを設置している。ゼロカーボンシティの実現検討プロジェクトチーム、健康で元気なまち検討プロジェクトチーム、子どもにやさしいまち検討プロジェクトチーム、地域共生社会の実現検討プロジェクトチ

自由民主党西東京市議団

市長の政治姿勢を伺う

新型コロナウイルス感染症対策の進捗

市の対応状況を伺う

本年度の主な政策について

- 坂井 かずひこ
- 山田 忠 良
- 中川 清 志
- とみなが ゆうじ
- 保 谷 なおみ
- 稲 垣 裕 二
- 小 林 たつや
- 酒井 ごう一郎

市長の政治姿勢について

【意見】 地方自治体では首長と議会の議員は二元代表制として、共に住民を代表するところだ。それぞれの権能の中で抑制と均衡の取れた関係を構築し課題解決に向けた建設的な議論を進めることが求められるものと考えている。20万市民のための市政を運営する市長として、議会とは緊張感と信頼関係を築きながら議会と

総合計画の策定について

【問】 総合計画の策定について伺う。 【答】 総合計画策定審議会において、基本構想に位置づける基本理念や基本計画の検討を行っており、5月を目途に中間まとめを作成しその後、市民説明会やパブ

総合計画の策定について

【問】 総合計画の策定について伺う。 【答】 総合計画策定審議会において、基本構想に位置づける基本理念や基本計画の検討を行っており、5月を目途に中間まとめを作成しその後、市民説明会やパブ